

JAあかし 自己改革の取り組み

2024.7.1

JAあかしでは、持続的な地域農業の維持・振興と暮らしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

令和5年度の主な取り組み状況を紹介いたします。

1. 農業者の所得増大に向けた取り組み

【 販売力強化による農業者の収入増加 】

- ◆ 新たな販路の開拓
 - ・ 明石サービスエリアでの農産物販売契約を進めています
 - ・ ヒノヒカリを原材料にした加工食品の食材販売を行います
 - ・ JAあかしブランド米「花美人」が明石市ふるさと納税返礼品に選定されています
- ◆ 新たな農業設備投資への助成
 - ・ 農業設備(ビニールハウス)投資への助成・支援を行っています
 - ・ 兵庫県の農業施設貸与事業の利用支援を行っています
- ◆ 信用事業からの農業設備投資に対する融資等の支援活動
 - ・ 信用事業の面から地域農業の活性化に貢献すべく、農業融資に対して独自の利子助成制度を制定しています
- ◆ 直売所の拡充
 - ・ 地産米穀の消費拡大に向けて、精米機器の更改を行いました
 - ・ 直売所施設の利用環境の充実を目指し、QRコード決済等のキャッシュレスサービスを導入しました
 - ・ エーコープ近畿との直売事業共同運営(JAファーマーズ プチ・フレッシュ・モア江井ヶ島)により、地産地消活動の取り組み強化を図っています
 - ・ ㈱クローバーファームJAあかしと連携し、魅力ある農産物の提供を図っています

【 農業者のコスト低減 】

- ◆ 育苗コストの低減等
 - ・ 水稻育苗苗販売価格について、燃料費や材料費高騰による費用はJAが負担し、販売価格を据置きました
 - ・ 肥料、農薬等の予約取りまとめによりコスト低減に取り組んでいます



- ◆ 施設利用
 - ・ 燃料費高騰による費用はJAが負担し、ライスセンターの利用料を据置きました
 - ・ フレコン利用料を値下げしました
- ◆ 肥料購買の助成
 - ・ 肥料価格高騰対策として、肥料の予約購買に対し、JAあかし独自の助成を実施しました
 - ・ 肥料、農薬の予約注文について、サイト決済が行えるように整備しました



2. 農業生産の拡大に向けた取り組み

- 【 特産振興・産地づくりの取り組み 】
 - ◆ 直売所を軸とした販売力強化
 - ・ JA連合会と連携し、地産特産品の育成としてスイートコーンおよびブロッコリーの栽培面積拡大への支援、出荷用資材の導入、対面販売を実施しました
- 【 新技術導入への取り組み 】
 - ◆ 新技術導入試験の実施
 - ・ 省力化栽培を目的に分解性マルチを導入し、ブロッコリーの栽培面積拡大に取り組んでいます
- 【 生産拡大に向けての準備 】
 - ◆ 設備投資の実施
 - ・ ライスセンター整備の補修・更新により稼働率の向上を図りました



3. 地域活性化への取り組み

- 【 地域のコミュニケーションづくり 】
 - ◆ 地域の皆さんと触れ合うイベントを開催
 - ・ 地域の小学生を対象に、ヴィッセル神戸のコーチを迎え、JAバンクサッカー教室を開催しました
 - ・ JAあかしふれあいフェスタを開催しました
 - ・ 幼稚園児、保育園児によるさつまいも収穫体験を開催しました
 - ・ 江井島小学校の児童にJAの体験学習を行いました
 - ・ 中崎小学校と大久保小学校の児童に野菜植え付けの出前授業を行いました
 - ・ トライやる・ウィークの受け入れを行いました
 - ・ 神戸大学附属小学校の児童にキャベツ栽培に関する出前



地域の子供たちを応援しようと
明石市子ども基金へ

授業と収穫体験を行いました



JAバンクサッカー教室



ふれあいフェスタ



さつまいも収穫体験



JA体験学習



トライやる・ウィーク

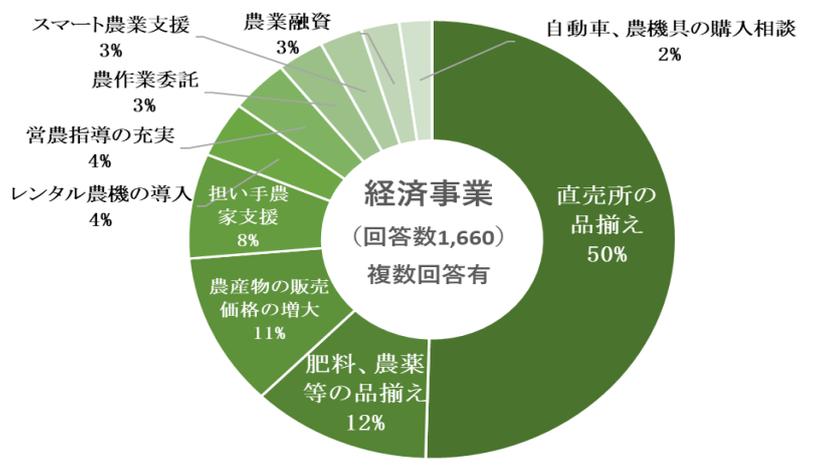
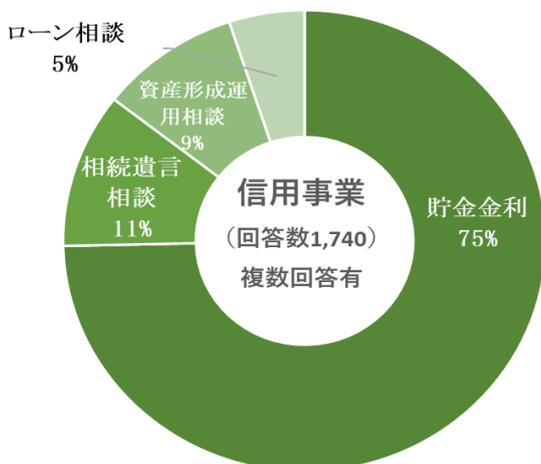


小学校出前授業

4. ご利用者様への取り組み

【 日頃の感謝と、より良いJAにするため 】

- ・ 日頃のご愛顧に感謝し、年金受給者のつどい(松村組和太鼓・津軽三味線&民謡・オール阪神巨人等漫才)を明石アワーズホールで開催しました
- ・ ローン契約者の方を主に招きし、スイートコーン収穫体験を開催しました
- ・ 共済ご契約の方を対象にJA共済アンパンマン交通安全キャラバンを行い、子供たちに交通ルールを学んでいただきました
- ・ ご利用者アンケートを行い、皆様のご意見を伺いました



ご利用者アンケート結果より JAに期待すること、力を入れて欲しいこと